

全国保健師教育機関協議会

Newsletter

2009年3月発行 第4号 責任者 会長 村嶋幸代

会長ご挨拶

桜の頼りもあちこちで聞かれるようになりました。会員校の皆様にはお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。

昨年3月に日本保健師連絡協議会が発足し、全保教も構成団体として活動しています。2008年9月22日には、5団体の長で文部科学省医学教育課（新木一弘課長）に、「保健師教育に関する質問状」を持参し、統合カリキュラムの法的根拠や看護系大学の読み替えの実態、保健師教育の地域看護学実習の実態を把握しているか、について質問しました。その結果、統合カリキュラムには法的根拠は無く、単に、平成16年度に出された報告書「看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達目標」を根拠にしているに過ぎないことが分かりました。また、地域看護学実習の問題点は認識しているということでした。

これを受けて、2009年3月12日には、文部科学省に要望書を提出しました。日本保健師連絡協議会としての要望事項は、下記の3点です。

1. 看護系大学において、保健師国家試験受験資格を卒業要件とすることの撤廃
2. 保健師教育は看護師教育の積み上げにすること
3. 保健師教育を2年以上または大学院教育とすること

また、自民党に「看護の質確保と向上に関するプロジェクトチーム」が作られ、2月12日に看護教育に関するヒアリングが在りました。本会からは岡本玲子理事が出席し、「保看統合カリキュラムを廃止し、保健師教育の質を担保して、国民の生を衛る実践力を確保する必要性」というテーマで説明致しました。保健師教育のおかれている現状を説明した時、参加者の中からはため息が漏れたということです。

保看統合カリキュラムの問題は、大学の増加と共に、益々大きくなってきています。3月5日には、全国衛生部長会から文部科学省に、「保健師の教育にかかる要望書」が提出されました。保看統合カリキュラムの撤廃を求める内容でした。

この様な多くの機関が動いた結果、文部科学省では、「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会」が開催されることになり、3月31日に第一回目が開催されます。全国保健師教育機関協議会の会長として、村嶋が委員の一人として出席します。

平成 18 年に「保健師教育は看護師教育の上乗せにすること」という総会決議をしてから、丸 2 年以上経ちました。この間、会員校の皆様には、多大なご支援を頂きました。教育検討小委員会による緊急アンケートにもご回答頂き、ありがとうございました。その結果は 2008 年年末に開催したワークショップで概略を報告すると共に、目下「平成 20 年度 保健師教育の課題と方向性明確化のための調査報告書」を作成中です。皆様からのご回答では、「保健師教育は看護師教育に積み上げ 2 年以上、できれば修士課程で実施することが望ましい」というご意見が多数ございました。報告書は、もうしばらくしたら届きますので、ご検討頂ければと存じます。また、この結果を踏まえて、「看護師教育に積み上げる時の保健師教育の在り方やその展開方法」について、皆様と共に明確にしていくことが、平成 21 年度の課題だと考えています。夏の研修会で取り上げることになるでしょう。

国家試験対策委員会も広報委員会も、活発に活動しています。

理事の任期は 2 年で、各ブロックで半数ずつ交代することになっています。退任される理事の方々には、大変お世話になったことを感謝しています。今後も、会員校としてご尽力頂ける事を期待しています。

平成 21 年度が保健師教育にとって画期的な年になるように、会員校の皆様と共に頑張っていきたいと思えます。ご支援とご協力を、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

日本保健師連絡協議会：活動報告集会が開かれ、保健師教育の見解(案)を概ね承認しました

日 時 平成 21 年 3 月 20 日 (金) 13:30~16:00

場 所 JNAホール

参加者 産業保健師活動研究会、社団法人日本看護協会、全国保健師教育機関協議会、全国保健師長会、日本公衆衛生看護研究会、その他 厚生労働省など 計 109 人

プログラム

13:30~13:35 開会のあいさつ (井伊久美子・代表幹事)

13:35~14:30 各団体による平成 20 年度活動報告

①産業保健師活動研究会 (西内千代子)

②社団法人日本看護協会 (井伊久美子)

③全国保健師教育機関協議会 (村嶋幸代)

④全国保健師長会 (大場工ミ)

⑤日本公衆衛生看護研究会 (平野かよ子)

14:30~15:40 保健師教育のあり方に関する見解(案)について
グループワーク&意見交換

15:40~15:55 平成 21 年度の活動へ向けて

15:55~16:00 閉会のあいさつ (村嶋幸代・次期代表幹事)

北海道・東北ブロック

北海道ブロックは平成20年10月18日に保健師長会と保健師職能と当協議会との検討会が実施され、実習の困難さが改めて浮き彫りになりました。今後もこのような場が重要という声が多く聞かれ、どのように継続していくか検討中です。また、平成20年12月6日は、「保健師の到達度」について意見交換をしました。今年度最後は、平成21年3月27日に「実践的な地域アセスメント」というテーマで、北海道大学大学院の佐伯先生を講師に学習を深めていく予定です。

東北ブロックは平成21年2月22日に「今改めて公衆衛生看護とは」というテーマで東北大学大学院の平野先生を講師に研修を実施しました。20名近くの参加があり、大変盛大な研修となりました。また、今年度の教員研修を活かし、先に実施された第92回保健師国家試験の問題を検討し、多くの意見交換ができました。

担当理事：酒井陽子（秋田県立衛生看護学院）安藤陽子（北海道保健看護大学校）

関東・甲信越ブロック

平成20年度最後の定例会が以下のように開催されました。

日時：平成21年3月24日（火）13：30～17：00

場所：順天堂大学浦安キャンパス

- 内容：1) 理事会報告 2) 平成20年度関東甲信越ブロック定例会活動報告
3) 平成21年度関東甲信越ブロック定例会活動計画
4) 研修会 テーマ「変動する地域社会に対応できるための保健師基礎教育のあり方について」 講師：日本看護協会常任理事 井伊 久美子氏
5) その他

現在の会員校は29校。新規加入校が増え、今の時期に関ブロとしてどのようなテーマを据えて取り組んでいけばいいか、会員間で前向きに話し合っていきたいと考えています。

担当理事：岸恵美子（日本赤十字看護大学）標美奈子（慶應義塾大学）

東海・北陸・近畿ブロック

当ブロックは20年度会員校41校となり、3回の定例会議および教育担当者部会研修会を開催しました。2月23日は京都平安会館で参加校30校、参加者43名で協議会動向の報告と共に次年度委員の交代が報告され、幹事校は石川県立看護大学が担当となりました。研修のグループワークでは、「統合カリキュラムにおける在宅看護論実習における技術到達目標について」、「卒業時の到達項目を実習で具体的にどのように展開していけばよいか」をテーマに活発な討議がされ、実習課題や展開の工夫を共有し更なる検討が必要であると

の声も出ました。

日本保健師連絡協議会発足 1 年を迎え、協議会と府県別保健師長会との交流状況についてヒアリングしたところ 13 府県中、愛知県、岐阜県、静岡県、富山県、京都府、大阪府、兵庫県では教員と実習施設指導者との交流が行なわれたとの報告でした。兵庫県では実習上課題を指導者のヒアリングによる調査によって研究としてまとめ、意見交換を行いマニュアル作りとして発展させているものや、今回を機に愛知県、岐阜県、静岡県、富山県、とくに大阪府では非加入校を含めて全学教員と行政や看護協会職能理事も参加し、運営課題について意見交換が活発に行なわれています。

担当理事：福本恵（京都府立医科大学）宮田延子（岐阜医療技術短期大学）

中国・四国ブロック

平成 20 年度の当ブロック会員校は 13 校になりました。会員校の所在地は山口県と島根県を除く地域になります。今年は夏季研修担当で、皆様方に大変お世話になりました。すでに案内を送らせていただきましたが、年度内の研修会を下記のように計画しています。保健師教育の課題は山積していますが、その中でも試験問題作成を学習するのは、授業内容の計画にも関連してきますので、教育を振り返る良い機会になりました。

——平成 20 年度中国・四国地区保健師教育機関協議会研修会開催要領——

1. 目的 試験問題作成のためのスキルアップをはり、保健師国家試験問題にウェブ登録できる力を養い、保健師教育の向上発展を図る。
2. 日時 平成 21 年 3 月 6 日（金） 午後 2 時～午後 4 時
3. 場所 ホテル千秋閣

〒770-0847 徳島県徳島市幸町 3-55(自治会館)

TEL 088-622-9121 (代)、FAX088-621-3344、e-mail: sensyukaku@ruby.nmt.ne.jp

4. プログラム

13:30～14:00 受付

14:00～14:05 研修会のオリエンテーション

14:05～14:15 12月25日開催の国家試験問題作成に関する研修会の概略紹介

14:20～15:30 グループワーク（問題作成の実際）

15:30～15:50 グループワーク発表及び意見交換

16:00 閉会

担当：20 年度当番校 徳島大学 多田敏子

担当理事：多田敏子（徳島大学）岡本玲子（岡山大学）

九州ブロック

平成 20 年度の活動は、指定規則改正後の保健師教育の目標をどのようにたて展開するかについて情報交換し、各校での教育の充実が図れるようにしました。8 月 21 日の総会では、看護基礎教育における地域看護の範囲を決め、「保健師教育」としては、看護基礎教育のうえにのせる地域看護学以上の能力とは何かの議論を行いました。研修会は 2 回開催し、1 回目は医療制度改革における特定健診・保健指導の施行に伴い、福岡県立大学学長 名和田新先生より「生活習慣病予防と保健師教育への期待」のテーマで講演いただき、現任の保健師の置かれている状況と制度変更下における保健師教育について検討しました。2 回目は、平成 21 年 2 月 20 日に行い、保健師教育の大先輩であります両先生からの保健師教育の軌跡とその時々をの思いを沿え、さらにはこれからの教育に対する示唆をいただきました。講師のお一人は、日本赤十字九州国際看護大学 教授 宮地文子先生でテーマ「保健師教育に期待すること～私の経験から～」、もうお一人は、熊本保健科学大学 教授 兼武加恵子先生テーマ「保健師教育のあゆみ」でお話いただきました。

担当理事：尾形由起子（福岡県立大学） 中柳美恵子（聖マリア学院大学）

国家試験問題対策委員会から

- スキルアップ研修会Ⅱを平成 20 年 12 月 25 日タワーホール船堀にて開催しました。参加者 61 名でした。実施後のアンケートでは「演習で実践しよく理解できた」「国家試験問題作成の難しさとみんなで検討することの大切さを実感した有意義な研修であった」との声が多くありました。川本先生、ありがとうございました。
- 国家試験問題を科学的に分析し、改善事項を明確にするために、「修正イーベル法」に取り組んでおります。今年度は、委員の所属する教育機関からの協力で行っています。
- 第 95 回保健師国家試験問題の不適切問題調査にご協力くださいまして、ありがとうございました。42 校から回答いただきました。平成 21 年 2 月 27 日検討会をおこない、厚生労働省医政局看護課長に不適切問題と改善事項について進言しました。

担当理事：酒井陽子（秋田県立衛生看護学院）安藤陽子（北海道保健看護大学校）

教員研修委員会から

夏季教員研修会について

期 日 平成 21 年 8 月 1 日（土）・・・・・・皆様、是非、ご予約ください！

開催地 東京大学 教育研究棟 13 階 セミナー室

担当校 福岡県立大学および佐賀県立総合看護学院

担当理事：尾形由紀子（福岡県立大学）

※なお、8 月 2 日にも、スキルアップ研修等を行う予定です。

保健師教育検討委員会から

- 保健師教育課程検討小委員会が中心となって、平成 20 年 11 月、国内の全保健師教育機関を対象に、「保健師教育の課題と方向性明確化のための調査」を行いました。緊急調査にもかかわらず、調査にご協力いただきありがとうございました。
- 調査結果の中間報告を、ワークショップ（12 月 25 日 17:30～19:30 タワーホール船堀 4 階研修室）にて行いました。ワークショップでは、これに加え「保健師教育上乗せの方策と求められる保健師の能力」「英国の保健師教育」についての発言も組み込み、その後、参加者間で望ましい保健師教育課程に関する意見交換を行いました。
- 調査結果については、報告書としてまとめ、会員校に送付します。また、関連学会での発表と論文投稿を予定しています。

担当理事：後閑容子（岐阜大学） 荒賀直子（順天堂大学）

保健師教育課程検討小委員会 岡本玲子（岡山大学）奥山則子（東京慈恵会医科大学）

庶務から

会員校は、右のように、115 校になりました。

各々の養成課程の半数以上となり、会の活動に重みが加わってきました。

保健師の養成機関で、未だ、会員校でない所には、是非、ご入会をお勧め頂けますよう、お願いします。

会員校の構成（H21.3.10 現在）

専修学校	19 校
短大専攻科	6 校
大学	90 校
合計	115 校

広報委員会から

年 2 回のニュースレターとして第 4 号を発刊することが

できました。保健師教育機関協議会の活動をパンフ

レットやホームページにも載せ、未加入校へのお知らせと日本公衆衛生学会でのブースで PR しました。この時代に随時見ることができるホームページの充実やニュースレターの斬新な改正充実が必要と思います。会員校の皆様からアイデアをお寄せください。

<編集後記>

皆様のご協力で 3 月中に発行することができました。出来るだけスピーディーに時事を得たホットな話題を正確にお知らせしようとしているところです。ホームページの閲覧でもご覧いただける内容もありますが、様々な媒体で随時協議会の活動をお知らせしたいと考えています。ニュースレターについてご意見がありましたらどうぞ引き続き広報委員にお寄せください。 広報委員：福本恵・宮田延子

全国保健師教育機関協議会 事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1 丁目 29 番 8 号 財団法人日本公衆衛生協会内

Tel 03-3352-4281 Fax03-3352-4605 URL <http://www.zenhokyo.jp/>